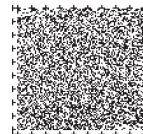
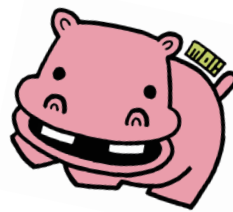


第49号

m o i

モイ!



私たちはこんな
サービスを
提供しています



『新宿区立障害者福祉センター』ってどんなところ?



新宿区立障害者福祉センターは新宿区が開設した障害者の社会生活支援を行なう福祉施設です。創作活動やデイサービス、機能訓練など、日中の生活を幅広く支えるサービスを行なっています。現在は新宿区障害者福祉協会が指定管理者となり、当事者団体として長年活動してきた中で培った理念・ノウハウをもとに個々のニーズに沿った支援を行なっています。一般住民の皆さん、お子さんなど広く来館してもらえるような企画も行い、近隣住民の方々と交流を深める施設でもあります。各サービスの詳細については、2階事務室までお気軽にお問合せください。

施設・設備

利用登録団体
62団体

- ◆団体やグループが利用できる会議室は15～75名規模。調理室や録音室等もございます。
- ◆リフト付き巡回バスは区内を4コースで運行しています。



講座講習会

25の多彩な講座

- ◆楽しく身体を動かす体操系講座や、オリジナル作品をつくる創作系講座等、年間約3,700人が参加しています。



竹とんぼ

- ◆毎週金曜日は高次脳機能障害の方を対象とした講座「竹とんぼ」を開催しています（参加条件あり）



機能訓練

年間利用件数
7762件

- ◆リハビリ・言語訓練だけでなく健康相談、自宅でできる運動メニューを考えたり、杖や補装具の相談も実施しています。



給食・入浴

2つの人気サービス

- ◆入浴の定員は1日3名、給食の定員は1日5名程度で実施。バランスのとれた給食の提供をしています。

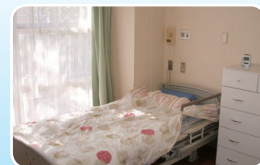


短期入所

日中ショート

年間利用者数445名

- ◆基本は1床ですが、緊急時の対応として2床目をお受けすることがあります（要契約）



マッサージ

- ◆有資格者である視覚障害者スタッフが市価に比べて格安な料金で施術サービスを提供（予約制）

相談支援



○指定特定相談支援業務

新宿区から特定相談支援事業所として指定されたことにより、身体障害者と知的障害者の方を対象に、サービス等利用計画を作成することになりました。この計画は、サービスを利用する人自身でも作ることができます（セルフプラン）、当センターでは相談支援専門員がご本人やご家族のお話を聞きながら作成致します。

○相談業務

日中の相談支援だけでなく、夜間の電話相談も行っています。

○ピア・カウンセラー

様々な障害のピアカウンセラーと連携し、身近な立場からの相談に応じる体制もございます。

地域福祉



障害者福祉センターは、さまざまな行事を通して、障害の有無に関わらず人とのつながりを作るように地域に開かれた施設を目指しています。

○センター祭

例年10月の最後の日曜日に障害者センター祭にたくさんの方がいらしゃいます。お近くにいらした際は、ぜひお越しください。

○サロン企画

平成27年度から試行的に行っている企画です。これまで、美容をテーマにしたセンターマルシェやフラダンス、ラジオ体操、スターバックスとコラボした手話カフェの開催など、不定期に開催しています。今年は映画を通じて地域の方と交流する企画を予定しています。



多機能型事業

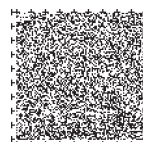


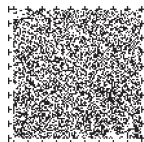
- ◆就労継続支援B型事業
あすなろ作業所（定員14名）

- ◆生活介護事業
「トライ工房」（定員12名）

常時介助が必要な方で、新宿区が利用を認めた方がご利用いただけます。ご利用相談は新宿区障害者支援係まで

電話：03-5273-4583





発達障害って何だろう

それぞれの障害の特徴

発達障害

- 言語の発達の遅れ
- コミュニケーションの障害
- 対人関係、社会性の障害
- パターン化した行動、こだわり

自閉症

広汎性発達障害

アスペルガー症候群

- 基本的に、言葉の発達の遅れはない
- コミュニケーションの障害
- 対人関係、社会性の障害
- パターン化した行動、興味、関心の偏り
- 不器用(言語発達に比べて)

学習障害(LD)

- 「読む」「書く」「計算する」などの能力が、全体的な知能発達に比べて極端に苦手

- 不注意(集中できない)
- 多動・多弁(じっとしていられない)
- 衝動的に行動する(考えるよりも先に動く)

注意欠陥多動性障害(AD/HD)

※知的障害を伴う場合もあります。
発達支援法の「その他の障害」に「トゥレット症候群」、「吃音」なども対象に含みます。



みなさんに分かってほしいこと

騒いでしまうことはあるけれど。



少し待つことで、落ち着くことも。

工夫をすればみんなと一緒に。

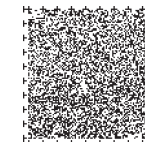
発達障害の子どもが騒いだりパニックを起こしたりしていると、周囲は、「なぜ親は叱らないのか」とイライラしてしまうかもしれません。

しかし、発達障害の子は無理に叱るよりも、少しの時間待つ方が混乱から抜け出せることが多いのです。周囲の人が「そのうち落ち着くだろう」と見守ってくれるだけでも、本人も家族もずいぶん楽になります。

凹凸のある発達の仕方を理解して、その人に合ったやり方を工夫することで、障害はもっているけれど、適応していくことができます。

不安や悩みはありませんか。

新宿区内には、次の相談機関があります。



しんじゅくりつしょうがいしゃせいかつしえん

新宿区立障害者生活支援センター

基本相談（相談に応じた情報提供等）と、計画相談（福祉サービス等利用計画の作成など）があります。精神障害のある方とそのご家族からのご相談に応じます。



【相談受付】

- ご利用いただける方
新宿区内に住所を有する 18 歳以上で、精神障害者およびそのご家族
- 相談専用電話：03（5937）6824
（電話は 24 時間受付）
- 来所相談：要予約・月曜～日曜（祝日、年末年始を除く） 9:00～17:00

しんじゅくりつこ そうごう

新宿区立子ども総合センター

《発達支援コーナー（あいあい）》

子どもの発達や関連サービスの利用等について、専門スタッフが相談を受けています。必要に応じて発達検査の実施、支援利用計画の作成、通所支援の案内、関係機関の情報提供等を行います。

【相談受付】

- 電話相談：03-3232-0679
月～金曜日 9:00～18:00
土曜日 9:00～17:00
- 来所相談（月～金曜日）：
事前に電話で予約をしてください。
- FAX：03（3232）0666
（「あいあい」への問い合わせの旨を明記してください）

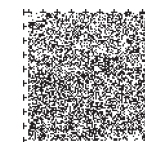
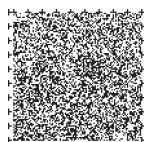
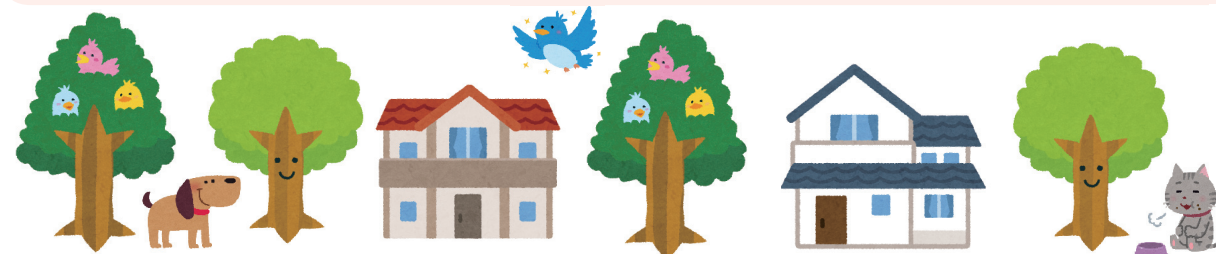
しんじゅく

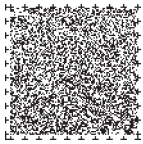
新宿スイッチ

発達に特徴を持つ子供たちが通う「通級（現まなびの教室）」の保護者の会を前身とした、ピア（当事者同士）カウンセリンググループです。『スイッチカフェ』では、自身も子育てに悩みぬいてきたお母さんスタッフに、気軽に質問や相談ができます。

【相談受付】

- メールで申込み：switch55cafe@gmail.com
- ①件名に「〇月〇日申込」とご記入ください。
- ②お名前、③連絡先、④お話したい事を記入。
- スイッチカフェ開催日：毎月 1 回
① 10:30～ ② 13:30～
- 場所：新宿区内地域センターなど
- 参加費：無料（60 分）
- アクセサリ作りも楽しめます。





久保木



久保木
(敬称略)

医療費の打ち込みとか、サークルの案内とか作ったりしてますね。それもセンターで教えてもらって出来るようになったのが全てだからね。習っただけじゃもったいないから講座が終わった時、勉強仲間を集めてサークルを作って週1回勉強会をした。

いま、生活の中でパソコンは活用されてますか？

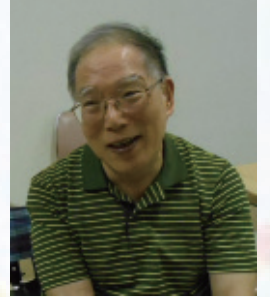
脳内出血で倒れて約1年闘病生活して退院した時、娘が「パソコンが何か勉強したら。パソコンが出来れば社会と繋がるよ。」とすすめられて…。その時、区の広報でセンターのパソコン講座が掲載されて応募したのがきっかけですね。そこで1年間勉強させてもらって。そして娘たちが誕生日にパソコン買ってくれた。それでパソコンやるようになった。

Mo i センターを利用されたきっかけは何ですか？

Mo i センターを積極的にご利用されている方へのインタビューシリーズ9回目です。今回は、ダーツクラブ「ターゲット」やスポーツ吹矢クラブ「ヒット」を立ち上げられて、現在は俳句講座にも参加されている久保木さんにご登場頂きます！



久保木 繁雄さん



最近TVCMにも出演されています。

それは6年間位でやめてしまったけど…。そのあと、僕はもともと身体を動かすのが好きだし、左手は動かせるから何か出来ないかなあと思って…。その時、たまたまダーツを体験してダーツなら僕でもできると思って。それでまた皆に声かけてダーツ、そのあと吹矢のサークルを作ったり…。いろいろな率先してやってくださってますね。

久保木 僕らご縁あった人全て家族だと思ってる。そういうたちなんですよ。僕の元気を皆さんに感じ取ってもらえればと思って。おせっかい焼きかもしれないけれど…。縁があつたらなるべくそのご縁を大切にしたいと思ってる。

Mo i 本当に盛り上げて下さってますよね。

久保木 いや、他にも元気な方沢山いらっしゃるか僕もエネルギーをもらっている。相乗効果が出ればいいなと思ってね。

Mo i 他にセンターの講座で俳句講座もやってらっしゃいますよね。

久保木 7、8年やってますね。頭の運動にいいと思って…。俳句をやり始めて季節に敏感になったり、花なんか見るようになった。妻がびっくりするんだよ。今まで無頓着だったのに歩道の植え込みの花をみて「この花なんだろっ？あの花は何？って。」と聞くようになったって…。(笑) 生活に潤いがあるよね。だから、俳句やって良かったなと思って。

Mo i センターはもう、生活の一部になっている。一週間の予定決まっちゃってるから。センターにいらしてる他の利用者の方に何かメッセージとかありますか。

久保木 来てる利用者というより、来てない人に来てほしい。一生懸命来させよう、来させようとしている。

Mo i だから久保木さん自らサークルの案内のチラシを作ってるじゃないですか。

久保木 そう、デイサービスに来ている元気そうな人にこういうことやってるよって。利用していない人にセンターの存在知ってほしいし、楽しいことやってるよって言いたいよね。

Mo i 最後にセンターを利用して何か気になることはありますか？

久保木 障害者の人に便利なグッズを売る場所が欲しいよね。ここに来たら買えるっていうようにね。

僕がよく考えるのは、パソコンが故障した時にセンターに連絡して取りに来てもらって直してもらったことかできたらいいなって。障害者の人が不便に思うことを手助けしてくれるのがセンターの仕事かなって。あと、なんかやることがないとみんな来ないんだよね。やって楽しいことね。センターに来たいと思わせるっていうか、そういう場にするってことが大切だね。

Mo i もう、なっているとします。これからみんなを引っ張っていく素敵な存在でいて下さい。有り難うございました。

取材を終えて

ご縁があつた人全てが家族とおっしゃっていた久保木さん。病気で倒れ経営されていたお店を閉めることになった際に開いたお別れ会にはバイトやお客さんを含め70人の方が駆けつけそうです。自分の周りの方に幸せにしたい、幸せの輪を広げたいと行動されてきた久保木さんの人徳を物語るエピソードですね。

